

# 2020年度 教育活動等に対する園関係者評価

社会福祉法人愛の園福祉会  
第2幕張海浜保育園

## 1. 保育目標

すべての人は例外なしに「神によって創造された存在である」という理解に立って、神を愛し、自然を愛し、人間を尊ぶことが人間性の基礎であることの視点に立ち、以下のように基本方針と定め、これを実践し、具体化するために、乳幼児一人ひとりの主体性（自立性・自立心・自律性）を重んじ、社会性の芽生え（協調性・連帯性・責任意識）を育て、個性が伸びる創造性（興味・集中力・探求心）のある子どもを育成することを目標とする。

### 《基本方針》

- ①心の清い正直な人間・・・（良心教育）
- ②心の豊かな明るい人間・・・（情操教育）
- ③からだの丈夫な強い人間・・・（健康教育）
- ④動作の機敏な人間・・・（安全教育）

## 2. 本年度の重点課題

- ①職員が法人の理念や保育目標・方針を共通理解するための取り組みを行う
- ②災害事故防止対策についての取り組みを行う
- ③職員の人材確保・人材育成と定着化への取り組みについて行う
- ④保育園の取り組みの様子を地域に公開する
- ⑤安定した質の高い保育を支える職員の育成の取り組みを行う（キャリアアップ）

## 3. 自己評価結果とそれに対する園関係者評価結果

（評価はS90点以上 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D50～59点 E50点以下 ）

評価項目	具体的な取り組み	自己評価		園関係者評価委員会	
		評価	保育園としての反省と改善策	評価	意見
教育・保育方針	<b>【支援が必要な子どもに対する適切な対応】</b>  ・個々の子どもの発達の実態について職員間で共有する。園全体でその子どもの育ちを支援する。	Á	援助や個別対応が必要な園児に対しての会議を行ったり、朝礼等での伝達を行い個々の状態と対応を共通認識し、園全体で支援を行った。途中入職の職員もいるため今までの様子等も伝えていく。	Á	個別配慮に対する職員の配置における他職員へのしわ寄せはないか？⇒現在は加配はなく、人数的な負担はない。個別配慮が必要な子はいるが、職員間の連携の面では情報を共有し、連携が取れている。途中で入職した職員に情報共有をしているが、ひと月の情報など伝えていくことが出来るが、年単位でさかのぼる必要がある場合も。発達に難のある子どもには全職員共通の言葉掛けや対応が必要とされる。支援員などとの連携など幕張での課題もある。
	・発達支援の研修や報告会を通し学び合う。	B	研修の報告書や必要に応じて報告会議を開催し職員の意識向上に努めた。	B	途中入職の職員に対して：S様 社員同士、管理者とのコミュニケーションがきちんととれるような環境づくりを心掛けている。前の職場（S様）から移動してきたが、こちらの公園では関係者との関わりや、近隣施設との関係性、協力関係を多く伝えられていた。
	<b>【食育計画を立て実践する】</b>  ・楽しく食事が出来る様に、環境を整え情緒的安定を図る。	B	保育者と子どもの動線を考えたテーブル配置を常に話し合い・考え、子ども達の姿に合わせて落ち着いた雰囲気で作事ができるようにした。	Á	飛沫対策との両立が難しかったと思う。常に子どもたちの同線を考えレイアウトを考え工夫している。
	・各年齢発達に合わせた食育のねらい・目標を理解する。	C	栄養士が安定した勤務ができていないため食育に関することがクラス内で進めることができなかった。各年齢に応じたねらいに関しては、職員間で確認することができていた。	B	栄養士の安定した勤務ができ今までの食育活動ができると良い。
	・栽培・収穫したものを使って、クッキングをしたり、食べることを楽しむ。	C	コロナ対策としてクッキングはできなかったが栽培や収穫を経験させることはできた。食育活動の取り組みの幅を広げ、他の取り組みができると良かった。	C	コロナの中で工夫はされています。飛沫対策などをしながらできる範囲で食育活動が再開できると良い。
特色のある保育の展開	<b>【保育園の取り組みの様子を地域に公開する】</b>  ・選ばれる園になるために園での取り組みや情報を地域に公開する。	B	ホームページやブログで園の配信を行っているがまだ、のせる題材に偏りがあるので園の特色をアピールできるように工夫する。施設見学に来た際にはできる限り園の特色である保育内容を伝えた。	A	クリスマス会・発表会など特色のある保育をしているので是非、地域に発信してほしい。Instagram等を開設し訴求効果に期待。
	<b>【育児について相談できる機会を広げる】</b>  ・保護者同士のつながりが深まるための方法について検討する。	C	毎年行っている親子行事や園行事がないため保護者同士の交流を深めることができなかった。	C	誕生参観や親子行事ができなかったのは残念である。Zoom開催などを検討していくのはどうか？
	・保育者との個人面談を取り入れる。	B	全園児対象の面談はできなかったが必要に応じて個人面談や電話相談を行った。また、連絡帳や送迎時の時間を有効活用して会話を大切に行った。その報告を職員間で共有した。	B	コロナ禍で新たな育児における不安等もあった保護者がいると思うので常に保護者との会話を大切にした取り組みをしている。

評価項目	具体的な取り組み	自己評価		園関係者評価委員会	
		評価	保育園としての反省と改善策	評価	意見
災害事故防止対策	・消防計画に基づき消防・防災訓練を行う	A	計画的に様々な訓練を実施した。避難訓練後に反省会やクラス間での話し合いの場を設け次回へとつなげることができている。 AEDを設置し環境面での向上にも努めた。	S	園での取り組みが子どもの話から伝わってくる。園関係者がより多く、訓練に関われるようにできればよい。救急救命士の保護者の方に指導を受けられたのは良かった。 多方面でこのような取り組みが出来るとうい。駅は不特定多数の人を避難誘導を職員が意識できている。火災を出さない意識。コンセント火災など意識してほしい。(S様)
	・避難場所・避難経路・役割分担の明確化	A	左記の事項が明確化されているもの実際訓練を行うと主体的に動けないこともあるので日頃から防災意識を高めておく必要がある。 新年度又は途中採用職員に避難場所の周知を行った。	A	コロナ禍の為、接触型の防災イベントを出来ていないことがあるが災害時避難訓練を工夫して行っていく。 日本庭園の火災想定訓練、地震の避難誘導訓練、AED講習を講師を呼んで行っている。
保護者との連携	【行事への参加】 ・誕生参観や親子で遊ぶ・行事への参加を促し参加しやすい日程調整を行い懇談会の開催をする。	B	行事への保護者の参加自体が見直しされる1年となったが保護者が参加しやすい日程調整や事前の周知はできた。 感染症対策に十分配慮した形で行事への参加を促せた。	B	インスタグラム・zoom・YouTubeなどを活用して今後の参観や懇談会を検討してほしい。
	【園日より・カリキュラムの工夫】 ・園の様子・園児の様子がわかるよう、保護者が読みやすく、読んでもらえるような紙面の工夫をする。	A	発行回数や文章を減らすなどした見直しをして2年が経ち保護者の方におたよりの内容が伝わるようになったと感じている。 重要な内容はキッズリー等でも伝えているのでその効果もあったと考えられる。	A	どの程度の削減を行ったのか。⇒カリキュラムは保育者が見ればよいものであるため子ども達の活動の様子を多く伝えられればと内容を変更した。⇒参考にしていく(C様)
保育者の質の向上	【緊急連絡の工夫】 ・緊急連絡網の他、キッズリー(メール)で連絡事項を配信する。	A	キッズリー導入によりタイムリーに園からの伝達を行えるようになった。園全体で保護者が内容を見たかを確認し確実性を高めた。 携帯配信のため手軽に確認することができるようになったため、定着化していく。	A	とても効果的な活用方法だと思う。 大きな改善策だと思う。 緊急でない場合でも活用することができる。
	・法人キャリアアップに促した保育の実践が出来る様学びの場を持つ。	A	今年度より法人のキャリアアップ研修がWebで行えるようになり参加できる職員が増え良い学びとなっている。 参加できていない職員への報告や学びの場をどのようにするかを考えていく。	A	先生方の向上心・プロ意識の高さを常日頃から感じている。

評価項目	具体的な取り組み	自己評価		園関係者評価委員会	
		評価	保育園としての反省と改善策	評価	意見
入園児募集	<p>【園の保育内容についてわかりやすく発信する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを通して保育内容や行事を定期的に提示できるようにする。</li> </ul>	A	<p>ブログを通して日常保育や行事の様子を配信した。 クラスが中心となりブログの配信の頻度を増やせばよかった。</p>	A	<p>駅に直結している特徴ある園であり、環境を生かして学びも多くある園だと感じているため積極的に発信していく。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園のリーフレットを市や区役所窓口等に常時設置する。</li> </ul>	C	<p>多くの施設に設置できなかった</p>	C	<p>リーフレットの設置が難しい理由もあると思うが、今後インスタでの周知を期待できれば良いと思う。施設見学について、コロナ禍の為に見学者が減ってしまったことは無かったか？⇒減ったことは無かった。子ども達との接触を減らすため見学は土曜対応となり、子どもの遊ぶ姿が見せられなかった。⇒子どもの普段の様子をなかなかアピールできないのはもったいない。今後インスタグラムの活用で入園希望者が増えればよい。</p>
危機管理	<p>【緊急時に対応できる行動計画を作る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・自己食物アレルギー発作に対する実践的研修を行う（年3回）</li> </ul>	B	<p>感染症対策やアレルギー対応についての研修は定期的に行えた。</p>	B	<p>感染症に対して十分行えていると思う。幕張海浜こども園で今取り組んでいる項目を洗い直し、全職員が理解しているか確認すると、全員にすべて周知が出来ているわけではなかった。対策をとっている内容が全職員に周知されるように意味など確認できるようにするとよい。⇒消毒の際に職員間で拭き方に差がある。職員間で具体的な内容まで伝えていければよい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の職員の勤務についての基準を作りマニュアル（連絡網）として明文化する。</li> </ul>	B	<p>明文化されているが共有が不足している。</p>	A	<p>同じ実施項目における各々の認識度チェックは重要。</p>
	<p>【保護者への説明や保育活動を行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットの事例を園だより等でその都度、伝える。紙芝居を作成し、子どもたち自身の意識を高める。</li> </ul>	B	<p>ヒヤリハット事案が発生した際には速やかに研修を開いた。子どもたちの怪我に直結することについては注意喚起を行った。今年度は防災紙芝居の作成を行ったため活用していく。</p>	B	<p>防災紙芝居などyoutubeで映像化し、各家庭へ向けて発信していくとよい。</p>

園経営全体の向上	【法人の理念や保育目標・方針を共通理解する】	A	保育方針や基本理念の読み合わせを毎回行い法人の理念を共通理解し職務・保育に携わることができている。	A	職員の意識の統一が図られている
	・キリスト教精神に根ざし、三愛精神の基本理念のもと保育がおこなわれている。				
	・乳幼児一人ひとりの主体性（自立性・自立心・自律性）を重んじ、社会性の芽生え（協調性・連帯性・責任意識）を育て、個性が伸びる創造性（興味・集中力・探求心）のある子どもを育成することを目標とする。	A	常に子どもの気持ちを尊重した保育が行えるように職員間の意見を交換したりクラス会議を通して保育目標やねらいにずれがないように心がけた保育をした。	A	子どもの主体性が重要視されている
	【働きがいのある職場作り】	B	保育者ケアを導入しているがフィードバックまでに時間がかかってしまう。一人一人が肯定感を持ち仕事ができるよう、その都度話し合いの場が持てるようにしていく。	B	仕事の役割を平準化していく。ある一定の職員の仕事に偏りはないように。(S様) 家庭と仕事の両立：仕事の質を高めながら棚卸出来るように意識している。(S様) 時間外労働の無いように努力。他関係者との連絡にコロナの影響で連絡内容を「キット化」していた。定着するまでは時間がかかってしまうが園内の様々な業務内容の人に協力を仰ぐ。(S様) 子どもの体調不良等でも休みやすい職場を目指せるように。事務仕事などでは休んで在宅でも仕事が出来るとよい。(k様) 在宅勤務では仕事のメリハリがつきにくいことがある。⇒仕事内容をシェアする(うまくいったこと、仕事のやり方の共有) 週休二日制を導入して働きやすくなり、体を休めることが出来た。しかし、限られた人数で仕事をしなければならないことがある。こどもの命を守る、年齢に合わせた発達を促すことを大切にしているが、お金目当てなどで今後入職する人が仕事に携わることで保育の質が落ちないように今いる職員を大切にできればよい。
・ひとりひとりが日々やりがいを感じながら仕事を続けていけるよう、現在のコンディションをデータ化する保育士ケアの導入しフィードバックする。					
【休暇の取りやすい環境を作る時間を意識した運営】	B	勤務としての超過はないが効率的に業務をし勤務時間内に業務が終えることに関しては個人差がある。 週休2日制の導入が定着し連続勤務にならないよう配慮されているため十分に身体が休めている。	B	リモートでの仕事は考えられていなかった。今後リモートでの仕事があればよいと考えていければよい。	
・年間を通して長期的に見通し、実質超過勤務なしを目標に効率をはかり生き生きした勤務を目指す。					

【意見交換】

宍倉様：駅の反対側に新たな改札を作る予定。

鈴木様：3月にイベント、来年イベント予定オリ・パラ

宍倉様：例年駅の行事に参加させてもらっていた。園・駅・ペリエの連携を地域として今後もできれば。

鈴木様：公園の管理が変わるかも。

笹木様：例年安心して子ども達が過ごせる環境として役割を持てている。今後もつながりを持てれば。

川嶋様：公園、駅、園の関わりでチームで運営されている園のよう。ワークタイムバランスを意識できるようにこれからも運営してほしい。

千葉様：例年のように顔を合わせて話すことが出来ればよかった。

## 第2幕張海浜保育園園評価実施要綱

### 【目的】

乳幼児の教育・保育活動その他園運営について目標を設置し、その達成状況や取組み状況について評価することにより、組織的・継続的な改善を図る。

### 【評価】

- ①自己評価は当保育園多職種によって（保育士・栄養士等）行い、設定した目標や計画に照らし、その目標の達成状況や取組みの状況について評価を行う。
- ②園関係者評価は第2幕張海浜保育園に在籍する園児の保護者代表と姉妹園の園長他、園関係者・地域の方が自己評価の結果に基づき、評価と助言を行う。

### 【評価時期】

自己評価	年2回	9月・1月
評価委員による評価	年2回	1月
第三者評価	5年ごとに1回	2016年・2021年

### 【報告】

- 園評価の結果について、保護者及び地域住民に公表する。尚、公表時期は、評価を実施した翌月とする。

### 【評価委員とその任期】

（自己評価者）

1	福嶋悦子園長・杉森未緒主任保育士・永沼和花保育士・古作江梨奈保育士
---	-----------------------------------

（評価委員）

1	第2幕張海浜保育園に在籍または卒園した園児保護者	乳児組保護者代表 幼児組保護者代表 卒園児保護者代表	川嶋 恭子 福田 麻理子 笹木 美奈子
2	地域関係者	株式会社千葉ステーションビル海浜幕張支店長 株式会社千葉ステーションビル海浜幕張副支店長 県立幕張海浜公園パークセンター所長	瀬戸口 淳 穴倉 茂夫 楠田 知子
3	姉妹園職員	社会福祉法人愛の園福祉会 幕張海浜こども園園長	千葉 諭
4	その他園が認めた者		

評価委員の任期は委嘱の日から2年後とし、再任を妨げない

